

■ 第8講

総合テーマ：『選挙と主権者教育～選挙から始まる地域づくり～』

日時：2019年11月18日（月）

会場：昭和ビル 9階ホール

■講師：内山 弾 氏（総務省自治行政局選挙部管理課 選挙啓発・電子投票係長）

■テーマ：『選挙と主権者教育～選挙から始まる地域づくり～』



争点があった年を除くと、国・地方選挙とも投票率は減少傾向にあります。選挙への関心をいかに高めるかが問われており、民主主義は、基本的人権・自由権・平等権、少数意見の尊重を踏まえた多数決原理・法治主義などがその原則です。主権者教育は、投票率を上げることに止まらず、国民の社会参加の促進、政治的リテラシーの向上が目的です。

主権者教育は、国や社会の問題を自分の問題としてとらえ、社会に参加し、自ら考え、自ら判断する主権者をめざすことにあります。そのため、自分が暮らす地域のことを知ること、関心のあることなど、まずは自分で考えることがスタートです。「子供から大人まで」、「身近な問題から社会問題まで」、年代や環境に応じた題材を扱い、「考える力、判断する力、行動していく力」を醸成する取り組みが求められます。また、計画的、組織横断的な取組も重要です。このため、国としてアドバイザーの派遣、優良事例の紹介・普及、各種啓発イベント開催、啓発動画の作成などの取組・支援を行っています。

■講師：池田 哲也 氏（せいじ〜る代表（（一社）地域問題研究所主任研究員）

■テーマ：『「せいじ〜る」の活動から見える地域づくり』



「せいじ〜る」は、2017年2月の岩倉市長選挙における公開討論会の開催を目的に、若者や子育て世代が集まって設立しました。立候補者が1名となったため公開討論会は中止になりましたが、それ以降も若い世代に対する主権者教育を目的に活動を継続しています。

主な取組として、岩倉市や岩倉市議会における住民参加の制度を活用し、子育てママと市長の意見交換会、若者や外国人と市議会議員の交流会を開催。参加者が気軽に楽しく参加できるように、一緒に食事やゲームなどを楽しむなどの工夫を行っています。2019年には、「岩倉市議会議員選挙公開討論会」にも取組んできました。

こうした活動を通じて、まちとのかかわりが希薄な市政と、行政や議会などとの新たな対話を促進し、一歩ずつ身近な地域づくりへの関心を高めています。今後も参加したくなるような魅力的な対話の場づくりを進め、市民の「わが町意識」を高めていく取組を地道に進めていきます。